

## マウス色々

2017 年 10 月 11 日

By ミケパパ

皆様、パソコン作業時に「マウス」を使っていますか？

若い営業マンなどは、「モバイルには邪魔だ」といってマウスは使わず、もっぱらタッチパッドを使っていますが、指先の感覚が衰えてくるシニアには、やはりマウスはありがたいですね。

このマウス、一般的なものはこんなのですね。→

右利き用には、

左クリック＝選択・ドラッグ・確定

右クリック＝種々の特殊機能呼び出し

スクロールボタン＝画面の上げ下げ

といった各部の役割で、パソコンには USB ケーブルで接続しています。

移動方向や移動距離の検索には、昔はボールを転がしていましたが、現在は光学式がほとんど、それも青色 LED や赤外線 LED を使っています。



無線(ワイヤレス)マウス:

このマウスですが、普段パソコンを操作していると、この「ケーブル」が意外にうっとうしい。そこで出てきたのが「無線マウス(ワイヤレスマウス)」です。

これは、名前の通りワイヤ(ケーブル)を無くし、マウスからの信号は無線でレシーバーチップに送られます。

レシーバーは USB ポートに差します。

レシーバーチップ→



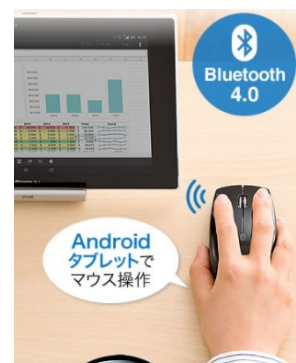
Bluetooth マウス:

しかしこのレシーバーも、USB ポートの一つ占拠してしまいます。

私のように複数の HDD を常時接続していますと、ポートはできるだけ空けておきたい。

で、このレシーバーチップも不要の「Bluetooth マウス」は便利です。最近のパソコンは、ほとんど例外なく Bluetooth 機能を内蔵していますので、簡単な設定で「ケーブル・レシーバーなし」のマウスが使えます。

(Windows10 ですと「設定」>「デバイス」>「Bluetooth とその他のデバイス」>「マウス、キーボード、ペン」で、設置したマウスを選択します)



マウスには電力が必要です。自分の位置や移動を検出するための LED 光源用、及びそれを信号として送信する装置の駆動用です。ケーブルの付いたマウスなら、そのケーブルを通じて電力を得られますが、ワイヤレスでは電源として乾電池が必要です。概ね、「3 年程度」は持つようです。

バッテリーフリー(?)マウス:

この「バッテリーが要らない」ことを謳った「バッテリーフリーワイヤレスマウス」というものもありますが、なんとこれは「電力供給用の専用マウスパッド上で使う」という代物で、マウスパッドとパソコンが USB ケーブルでつながれています。マウスはワイヤレスですが、パッドがケーブル付きでは、「ワイヤレス」の名が泣きます。



ミニマウス:

モバイルパソコン用に、小型・軽量化された「ミニマウス」もあります。

通常のマウスはおおむね 100g 程度ですが、これは 6 割前後の重量、サイズも一回り小さくなっています。価格的には高めになります。



マウスパッド:

マウスは、自分が出す光の反射を利用して移動方向と移動量を検出しますので、なるべく平滑で清潔な面の上で動かす必要があります。それ故、マウスパッドを利用しますが、このパッドの材質や色によっては、ポインターの動作が異常になることがありますのでご注意ください。

私の経験ですが、青色フェルト材のハンドリスト付きマウスパッドを買いましたところ、ポインターが異常に動いたり飛んだりし始めました。安いプラスチックのパッドに替えましたら問題なく動きます。高いものが必ずしも良いとは限りません。

滑り止めの付いたもの、ハンドリストが付いたものなどいろいろありますが、私の経験ではなるべくシンプルで、しっかり盤面にくっつくものがよろしいようです。

以上